

## 行財政経営改善戦略（素案）の主な修正点

- ① P 1 「Ⅰ 行財政経営改善戦略で目指すもの」として、冒頭に本戦略自体の位置付けや、目標等を掲載しました。
- ② P 2 「1 戦略の位置付け」として、本戦略と2つの方針の体系を掲載しました。  
また、これまで「定員適正化推進方針」としていたものを、定員を削減する趣旨よりも、職員力や組織力の向上を図る趣旨を捉え、「(仮称)人財活躍推進方針」としました。
- ③ P 4 「3 目標」として、計画期間中において達成を目指す目標を掲載しました。
- ④ P 6 「4 戦略の体系」として、経営改善推進方針と、(仮称)人財活躍推進方針の内容を項目出ししました。
- ⑤ P 7 「5 戦略の取組手法」として、市役所内での進め方について、新規に説明を追加しました。
- ⑥ P 1 0 「第1編 経営改善推進方針」について、3つの柱を整理し、「業務効率化」「業務改革」「財政健全化」としました。  
これまで、第1の柱としていた「定員適正化」については、(仮称)人財活躍推進方針の中に整理、統合しました。
- ⑦ P 1 4 「第2編 (仮称)人財活躍推進方針」について、3つの柱を整理し、「人財の活用」「職員力の向上」「組織力の向上」としました。  
これまで、第3の柱にあった「業務の集約化」については、経営改善推進方針に整理、統合するとともに、同じく「定年延長を見据えた職員配置」については、新しい第2の柱「職員力の向上」に整理、統合しました。
- ⑧ P 1 7 「Ⅱ 戦略と連携を図る方針」に、「茅ヶ崎市職員の人財育成基本方針」を追加しました。
- ⑨ P 1 9以降、「Ⅲ 策定にあたって」「Ⅳ 茅ヶ崎市を取り巻く状況」については、「Ⅰ 戦略の位置付け」等をより強調する意図から、記載場所を戦略の後方に移動しました。
- ⑩ 全体のデザイン、文言修正を行いました。